

## 日向市文化賞受賞者（敬称略）

年 度	氏 名	部 門	功 績
昭和43年度	三尾 良次郎	学 術	著書「黒田の家臣物語」等による郷土史研究
	宮崎 正二	芸 術	絵画（油彩画）の研究（市美術協会会長）
	黒木 八百蔵	技 術	はまぐり基石加工技術
昭和44年度	伊達 小夜子	芸 術	バレエの研究・普及
	成合 袈裟義	技 術	日本刀研磨・鍛練の技術
	長友 重夫	体 育	弓道の普及（県体個人優勝3回）
昭和45年度	石川 筆一	技 術	鬼瓦つくりの技術（昭和33年天覧）
昭和46年度	刈川 水保	芸 術	絵画（油彩画）の研究（県美展連続入選）
昭和47年度	山元 一	体 育	柔道の普及（県選手権優勝・柔道場開設）
昭和48年度	田中 重治	一 般	学校医としての功績（40年間）
昭和49年度	山中 たから	芸 術	俳句普及に対する貢献及び作家としての文化振興
昭和50年度	該当者なし		
昭和51年度	甲斐 勝	学術・芸術	小説「小さな長い夏」郷土誌「天領と日向市」等の著作活動
昭和52年度	佐藤 正	一 般	文化振興に尽力（市文化協会初代会長、市教育委員長 etc）
昭和53年度	該当者なし		
昭和54年度	該当者なし		
昭和55年度	黒木 幹夫	体 育	ソフトボール競技の普及に尽力（全日本ソフトボール協会表彰）
昭和56年度	田村 栄市	体 育	軟式野球の普及に尽力（市体育協会会長歴任・市長表彰）
	黒木 一士	技 術	はまぐり基石の加工技術
	宮地 千代	芸 術	茶道の普及振興（淡交会全国表彰）
昭和57年度	大坪 静枝	芸 術	茶道の普及振興に尽力（県支部長歴任）
	塩月 景幸	芸 術	民謡の研究・普及に尽力（NHKのど自慢全国大会準優勝）
昭和58年度	該当者なし		
昭和59年度	武田 キクエ	芸 術	茶道の普及振興に尽力
	阪本 正男	体 育	軟式野球の普及に尽力（市体育協会会長歴任）
	黒木 倉吉	芸 術	短歌の研究・普及に尽力（「教育雑記くりあと随筆」等の著書）
昭和60年度	甲斐 正教	体 育	卓球・ソフトボール等の普及に尽力
昭和61年度	該当者なし		
昭和62年度	田中 道夫	芸 術	絵画（特に剪画部門）の研究（日本剪画大賞受賞）
昭和63年度	該当者なし		
平成元年度	該当者なし		
平成2年度	宮崎 清子	芸 術	茶道の普及振興に尽力（市茶道連盟会長）
	三股 富士雄	一 般	学校医としての功績及び市南部地区振興に尽力
平成3年度	佐々木 武彦	体 育	体育競技団体の育成・振興に尽力（市体育協会会長）
	伊藤 隆	一 般	文化財保護思想の普及及び細島地区振興に尽力（史談会会長）
	鈴木 政市	芸 術	書道の研究・普及に尽力（市書道協会会長・市美術展無鑑査作家）
平成4年度	和田 文男	一 般	医師会会長・学校医としての功績
	日向市民吹奏楽団	芸 術	音楽を通して市民の文化向上に多大な貢献
平成5年度	市原 正廣	芸 術	書道の研究・普及に尽力又、市文化団体の育成に多大な貢献
	佐々木 寛治郎	技 術	美々津和紙の研究製造・普及に尽力（宮崎県伝統工芸士）
平成6年度	鮫島 哲也	体育・一般	ソフトボール競技を通じ本市及び県内の体育に尽力
平成7年度	黒木 義男	芸 術	日向市内俳句連合会の指導と発展に尽力
平成8年度	該当者なし		
平成9年度	横川 美雄	体 育	ソフトボール競技の底辺の拡大と競技力の向上に多大なる貢献

平成10年度	該当者なし		
平成11年度	該当者なし		
平成12年度	小川 新一郎	芸 術	市内美術界の第一人者として後進の指導や文化振興に多大な貢献
平成13年度	長渡 万太郎	芸 術	各種俳句大会での受賞をはじめ、市内各派俳句会の一本化に尽力
平成14年度	該当者なし		
平成15年度	千代反田 泉	一 般	医療サービスの充実と発展、人材育成に尽力
平成16年度	該当者なし		
平成17年度	甲斐 文明	一 般	地域医療、救急医療そして学校医療の充実に貢献
	上杉 勇藏	一 般	古美術研究家、文化財保護を推進。(県の銃砲刀剣類登録審査員)
平成18年度	原田 和明	芸 術	日向市茶道連盟を結成し、茶の湯の普及に尽力
平成19年度	森迫 幹雄	一 般	幼児教育の推進に尽力し、教育文化向上へ貢献
	松葉 一路	技 術	刀鍛冶分野で日本伝統文化の推進に多大なる尽力
平成20年度	該当者なし		
平成21年度	西島 祐子	芸 術	バレエの指導者として教育普及推進に尽力
平成22年度	橘ひよつとこ 踊り保存会	芸 術	市無形文化財の伝承保存活動に努める
	鈴木 幸男	一 般	「平兵衛酢」の栽培拡大に大きく寄与
	田崎 登保	一 般	市の観光振興に大きく貢献
平成23年度	花柳 絹太 (吉田美智代)	芸 術	永年、日向市舞踊連盟の中心を担い、本市の日舞界に貢献
	和田 勝典	芸 術	日向はまぐり基石まつりの運営をとおり、囲碁文化の向上に寄与
平成24年度	黒木 伊知緒	芸 術	本市の短歌界を牽引
平成25年度	日向市東郷町 若山牧水顕彰会	芸 術	若山牧水顕彰を通じて芸術文化の向上と地域振興に貢献
	桂 歌春	芸 術	落語家真打昇進、こども落語を通じ文化振興・情報発信に貢献
平成26年度	中島 弘明	一 般	中島記念館を設立し、芸術文化の向上発展に貢献
	柏田 芳美	体 育	日向地区バスケットボール協会長として青少年の健全育成に貢献
平成27年度	中村 恒雄	一 般	地域医療に尽力し、小児生活習慣病健診に取り組む
	和田 徹也	一 般	地域医療に尽力する傍ら、スポーツや音楽振興に貢献
平成28年度	坂本 淳	芸 術	書道および篆刻の分野で大きく貢献
	渡邊 康久	一 般	地域医療に尽力する傍ら、地域の文化向上に貢献
平成29年度	東村 吉市	芸 術	永年の短歌活動と牧水顕彰に加えて、芸術文化の向上に貢献
平成30年度	岩切 素子	芸 術	音楽を通じた日向の発信、国際交流活動に係る功績
令和元年度	大野 裕	一 般	アカウミガメや自然環境の保護活動に尽力
令和2年度	山本 榮	技 術	熟練された鍛冶技術で、農林業の発展や生活文化の向上に貢献
令和3年度	三輪 純司	一 般	幅広い活動で、人・まちづくりに貢献
令和4年度	該当者なし		
令和5年度	瀧井 修	体育・一般	地域医療・地域福祉の向上に貢献
			レクリエーション活動・スポーツの普及振興に尽力
令和6年度	松葉 藤吉	一 般	本市の歴史や伝承の研究、観光振興等に貢献

■これまでの受賞者数（令和6年度まで） 63個人＋3団体＝66

※部門別受賞者数（1人にて複数部門受賞もあり）

学術部門 2 技術部門 7 芸術部門 29 体育部門 11 一般部門 20